2021年度 第3回 学校教育事業委員会 順序

日 時：2022年3月1日（火）
午後6時30分～8時00分
Zoom でのオンライン会議

Ⅰ.出席者　濱瀬 眞知子氏（長）、岩野 祐介氏、岩本 哲人氏、栗原 由加氏、土肥 伊都子氏、
中出 恵子氏、松本 聡子氏　（以上委員）
松田 道子氏　（担当理事）
高等学院担当職員　櫻井 英治氏、川北陽子氏
専門学校担当職員　鐘 瑋悦氏、古谷 茉穂氏、坂本 孝司氏（担当主事）
（以上職員）

Ⅰ.欠席者　海老 直人氏（副）、上谷 円氏　（以上委員）

Ⅰ.聖書朗読　創世記 1 章 3 節「光あれ。」（2021年神戸 YMCA 年間聖句）

Ⅰ.開会祈祷

Ⅰ.議題

1.神戸YMCA全体報告

松田氏より以下の通り報告がなされた。

・コロナ禍だが、予定していた行事を実施。11/23 のチャリティーランでは、高等学院の学生がオンラインにて参加。

以上、承認。

2.2021年度各校の状況報告

1）高等学院

別紙の通り櫻井氏、川北氏より募集状況、現状について報告がなされた。

- 精神的な影響から髪や爪を切ることができなかった生徒がチャリティーランに自主的に参加し、爪を切ることもできたなど、少しずつ変わっていく生徒がいる。
- 後期アンケートでは、顔を見ることができない、授業時間数が取れない中での先生の工夫がみられる。
- 岩野委員より、3 年生の進路について、どのように評価するかの質問があり、進学に関しては例年同様の進学率であること、卒業を目的として入学している生徒が多い中で卒業が危ぶまれる生徒が複数在籍することの回答があった。
- 岩本委員より、先生のアンケートのうち、7 番と 12 番の事について、試薬の実験セットが安価で使いやすいとの情報提供があった。
- スマホやタブレットがあれば、顕微鏡の撮影が可能。生徒が普通の教室でも実験ができるとの情報提供もあった。
- 数ある学校の中からなぜ高等学院を選択したのか、新学期開始後、新入生及び保護者と人間関係ができてから聞き取りを行い、広報計画に役立てる予定だ。

2）専門学校

①ホテル学科

古谷氏より資料に基づき学生数・募集状況、状況報告がなされた。

- 新入生 20 名の予定。この時期でも高校 3 年生の資料請求が多い。留学生が 3 名、ベトナム2、ミャンマー1。中国・台湾の学生がいないのが珍しい。
- ホテル就職 10 名、レストランサービス 3 名、その他（介護、美容会社、物流、芸能）5 名。
- 課題を抱えた学生が一部いるが、卒業に向かってサポートをしている。
- 中出委員より模擬挙式列席時新鮮で感動的だったとの感想があった。
- 濱瀬委員長より模擬挙式列席時ピュアでナチュラルで心の静かさを感じた結婚式だったとの感想があった。また、実習報告会で 2 年生の学生の報告を聞いて、大変な実習だったが、学生が今までと変わりなく充実して、身に付けたことを発表したので、今までの先輩たちの流れを感じる、との感想があった。
- 栗原委員より名古屋のホテルとつながりができ、関西での採用に関心があるため、神戸 YMCA のホテル学科へ繋げるとの提案があった。

②日本語学科

鐘氏より資料に基づき募集状況、状況報告がなされた。

- トータル申請数 37 件　去年より大幅に上昇。ただ、中・台は減っている。ミャンマーが増加。本校以外の学校もミャンマーなどの学生が増加傾向。
- 3/1 より新規入国が認められ、スムーズに手続きを進められるよう尽力していく。
- 夏期の短期集中コースをオンライン実施で準備を進めている。台湾の提携校や、ホテル学科で繋がりのあるスウェーデンの高校にも広報済み。
- 留学準備のオンライン日本語コースに受講生 4 名がいた。パワーポイントでの画面共有で細かい指導が出来た。課題は、聴解の授業の CD の音源が聴き取りづらい点で改善を考える。
- ホームページ改定により、ホームページからの問い合わせが増えた。
- 進路は、専門学校進学は例年通り順調。就職希望者が難航しており、「技・人・国」のビザの仕事求人が少ない。特定技能ビザのほうが就職しやすくなっている現状。
- 3/7 は 26 名の学生が卒業を控えている。
- 栗原委員より、在留資格認定証明書の数字について、22 人の数字は交付されていない数字なのかどうかとの質問があった。1 回目の交付状況の数字の為、確固書きで表記していると回答があった。
- また、未入国人数はすべてオンラインで受けている人数なのか、オンラインは一クラスで設定かとの質問があり、オンライン受講者は 11 名で、それぞれのクラスでハイブリッド授業を実施との回答があった。
- 進学者 17 名であるが、例年は何名程かの質問があり、例年は 70～80%が進学しているとの回答があった。
- オンライン授業の学習効果について、濱瀬委員長より資格の授業については効果があるが、そのほかの体験や学習の授業については難しいとの意見があった。
- 土肥委員より関西学院大学でハイブリッド授業をしているが、対面の学生は極めて少なく、ZOOM の録画を取っているので、何回も見てもいいので、全部がよくないことではないとの意見があった。

以上、承認。

3. その他

・学校評価（自己点検）については、修正点などを後日メールにて提案いただき、修正確認の上、次回 6 月に開催予定の等委員会で最終案を確認することが決議された。

以上、承認。

4. 閉会祈祷

Ⅰ. 閉会

以上

（記録：鐘 瑋悦）